

# ASAHI-IND.

## 旭工業株式会社 DX推進ビジョン

代表取締役社長 橋本 明秀

2023年7月21日 策定

## DX推進ビジョン

### 1. 社内DX推進による生産性向上とデータドリブン経営の実践

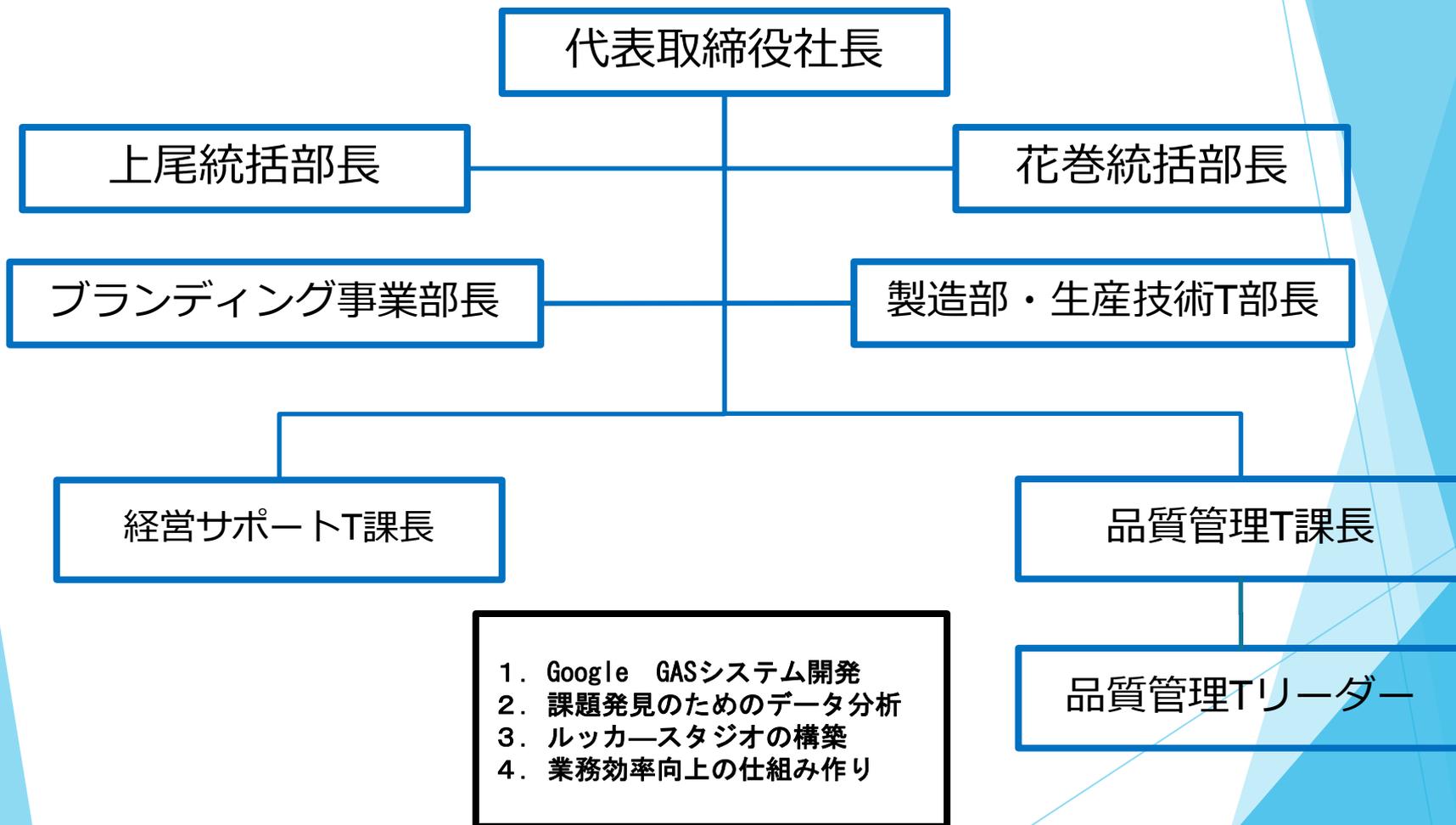
- (1) 生産管理システムによる工程管理情報、製品情報の一元管理
- (2) ルッカースタジオ導入によるリアルタイム情報の共有・活用
- (3) GoogleGASを活用した業務改善
- (4) 成果(工数)の見える化に伴う、モチベーションアップによる生産性向上。
- (5) 品質管理システムによる品質データの分析と、見える化による振り返りと学びの共有から品質レベルの向上

### 2. 人材育成

- (1) DXテクノロジー活用の為の人材育成（外部講習他）
- (2) 技術情報の収集と共有化
- (3) ブランディング事業の人材育成

## DX推進の取り組み - DX推進強化における組織編制

2020年4月より、「DX戦略会議」グループを新設、クラウドをベースにデータを共有し、迅速に課題解決を実現できる体制を構築しています。



# DX推進の取り組み - 推進計画

## DXビジョンに基づく推進項目

1. 社内DXの推進による生産性向上とデータドリブン経営の実践
2. 人材育成

## 推進計画

- (1)生産管理システムによる  
受注から出荷までの情報の一元管理
  - (2)デジタル情報の導入による成果の見える化  
(やりがい・モチベーションアップ)
  - (3)経理のDX視点による業務改革  
DXを活用し業務内容を根本から見直す
- 
- (1) DXテクノロジー活用の為の人材育成
  - (2)技術情報の収集と共有化
  - (3)ブランディング事業の人材育成

## 上記計画達成時の指標

1. 生産性向上
2. 現場業務のDX改善
3. 経理のDX改善
4. 間接業務のDX改善

粗利額アップ	年15%アップ
業務削減時間	1000時間/年
業務削減前年比	50%減
業務削減時間	1000時間/年

## DX戦略

社内DX推進による  
生産性向上と  
データドリブン経営の実践

社内業務全てでDXを推進し、効率化、省力化を図る事で時間を捻出、新たな取り組みを行うサイクルを回し、DXによるリアルタイムな情報から判断する事で正しい経営を実践する。

働き方改革戦略

DX化による効率化、省力化を推進し、全ての業務の作業マニュアルを作成する事で、誰でもできる環境を作り、業務負荷を分散すると共に、BCPの観点からリスク分散を図る。

人材育成戦略

外部講習を受講する他、新しい技術情報の収集を行い、情報を共有して水平展開し、DX人材、ブランディング人材の育成を促進します。

# DX推進の取り組み -DXシナリオ

## 1. 社内DX推進による生産性向上とデータドリブン経営の実践

### (1)生産管理システムによる、生産管理情報の一元管理

生産管理システムにより、受注から出荷までの情報を一元管理する事で、生産計画、納期管理、工程の進捗管理、品質記録の管理を行い、お客様にご満足頂けるQCDをご提供する。

### (2)デジタル情報の導入による成果の見える化

自分が行った業務成果を見える化する事により、やりがい・モチベーションをアップさせ、上手くいかない時には、振り返り、反省する事でPDCAを回す文化を定着させる。

### (3)経理のDX視点による業務改革

DXを活用し、今行っているやり方が最速か、本当に必要か、他の方法に変えられないか経理の業務全てを根本から見直す事により、他業務を行う時間を創出する。

## 2. 人材育成

### (1)DXテクノロジー活用の為の人材育成

外部の講習会に参加させる他、チャットワークにて、いつでも技術相談ができるようにし、学んだ事を報告会にてアウトプットさせる事で、DX人材の育成を行う。

### (2)技術情報の収集と共有化

新しいDX技術情報の収集を行い、情報を共有して水平展開する為に、他者のベンチマーキングに参加し、結果が出ている事をマネる。

### (3)ブランディング事業の人材育成

採用活動、広報、自社製品販売をブランディング事業と位置付け、業務を通じて人間力を磨きあげる。

## DX推進の取り組み - 環境整備の具体的方策

当社ではDXの推進のために下記のような環境整備に取り組んでいます。

1. DX化による効率化、省力化、情報の整理整頓の推進
2. 全業務の作業マニュアル化を推進
3. 生産管理システムによる、生産管理情報の一元管理
4. デジタル情報の導入による成果の見える化
5. 経理のDX視点による業務改革
6. DX活用の為の人材育成、ブランディング事業の人材育成
7. 技術情報の収集と共有化
8. 品質管理システム構築、データ分析により品質レベルの向上

## DX推進の取り組み - 今後の情報発信

現在、当社では、全社でDX推進に取り組む事により、1人当たりの生産性の向上や業務に関わる情報の数値化、情報の整理整頓、情報の見える化によって、やる気やモチベーションの向上、自分を振り返り、反省して更なるアクションを行う、DXによりPDCAを回していく取り組みを行っております。

当社では、今後もDXの推進の状況につきまして、ホームページの「会社の取り組み」として、随時、公開して参ります。

代表取締役社長 橋本 明秀